

第6回 小さいみかんがおいしいんだ！ みかん収穫体験

月 日：令和5年11月9日（木）

場 所：三重大学附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附属施設農場
（三重県津市）

参加者：三重県津市立 大里小学校 6年生 32名

6年生児童32名が、三重大学の先生から、みかんの品種や栽培方法、おいしいみかんの見分け方などを教えていただき、その後、畑に入り、一人一袋分のみかんを収穫しました。



（三重大学の先生のお話）

科学技術の進歩で、簡単に果物の糖度などが計測できるようになりました。選別されて値段が高く売られているものはおいしいと言えます。

みかんも病気にかかることがあり、消毒や剪定など適切な対応をして育てていく必要があります。

みかんの品種にはお店でよく見かける温州みかんやそれより少し大きいポンカンなど様々なものがあります。

みかんは、小さいものが甘くておいしいですよ。



（子どもたちの声）

みかんを収穫したのは初めてで、とても楽しかった。

友だちとおいしそうなきかんを探したことが楽しかった。

おいしそうなきかんばかり取っている友だちがいてすごいと思った。

おいしいみかんは小さいみかんだと分かったけど、小さいみかんは安く売られていることがある。どうしてだろう。

おいしいみかんの見分け方が分かったので、家の人にも教えたい。

家でみかんを食べる時には、よく見ておいしいものを食べたい。

～先生の感想～

果物の収穫体験は子どもたちにとって楽しい活動で、おいしいものはどれか真剣に見ながら収穫していました。

大学の先生からは、みかんの話だけではなく、職業選択について経験をもとにしたお話をいただき、子どもたちが将来について考える機会にもなったと思います。（6年生担任）

